

都市環境ゼミナル会員の濱野章氏が、文部科学大臣より表彰状が授与されました。

# 教科書供給功労者表彰

## ぜにやH・Cの濱野さんが

5月25日、東京都千代田区のホテルグランドパレスで開かれた一般社団法人・全国教科書供給協会の「平成29年度教科書供給功労者表彰式」で「ぜにやH・C」の津市芸濃町棟本Ⅱの社長・濱野章さん(67)が表彰を受けた。

### 長年にわたる教育への功績を評価 文科大臣より表彰を受ける



教科書供給功労者表彰状を手に：濱野さん

表彰の対象は会社ではなく、事業に係った個人。概ね45年ほど業務に携わる必要があるため、津市内での受賞者は現在まで濱野さんを含めて極めて少ない。濱野さんは、安濃町萱根など津市内に店舗を構えるスーパーマーケット「食材工房ぜにや」を運営する(株)ぜにやの前社長。ぜにやは

大正2年(1913年)に津市棟本に呉服店として創業。昭和27年に第2次世界大戦の敗戦の後、アメリカの統治下にあった日本が独立を回復し、日本独自の教科書が改めて普及する中、教科書の供給業務を開始。昭和34年にはスーパーマーケット事業を展開し、業務拡大をする中で、教科書の供給業務を辞める声も社内上がったが、大学卒業後に家業に入り、教科書供給を担当していた濱野さんが子供たちに平等な教育の機会を与える一助を担う仕事の意義を感じ、長年に渡って継続してきた。濱野さんは60歳を機に(株)ぜにやの経営権を譲り、自身は店舗などを管理する現会社の社長に就任したが、教科書の供給業務を同社へと引き継ぎ自身で行っている。現在には芸濃小・明小・豊が丘小・高野尾小・大里小・芸濃中へ供給業務を実施。濱野さんは「教科書は時代によって内容が変化していくだけでなく、ゆとり教育の時は少なくなり、またそれが見直された際には驚くほど増えるなど、時代を映す鏡。教科書を電子データにしてタブレット端末で利用する話も出ているが、そういった一区切りを迎えるまでは続けていきたい」と今後も地域の教育を支える教科書の供給を続けていくことに意欲を見せた。

表彰状  
濱野 章 殿  
あなただけ長年にわたる教科書供給業務に尽力し、地域教育の発展に多大な貢献をなされたこと、この功績をたたえ表彰します。  
平成29年5月25日  
文部科学大臣 松野博一